

資料1-4 自治体別にみた研究者等の依頼した人材（平成25年～27年度調査）

<神奈川県>

依頼した人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当した部・課
<p>村上處直 横浜国立大学工学部教授 伊藤和明 文教大学国際学部教授 金田正樹 聖マリアンナ医科大学東横病院整形外科医長 熊谷良雄 筑波大学社会工学系教授 佐土原聡 横浜国立大学工学部助教授 瀬尾和大 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授 田中淳 文教大学情報学部助教授 都司嘉宣 東京大学地震研究所助教授 松田磐余 関東学院大学経済学部教授 山崎文雄 東京大学生産技術研究所助教授 吉井博明 文教大学情報学部教授 高井一雄 (社)神奈川県経営者協会 岡田義光 防災科学技術研究所地震調査研究センター所長 菊池正幸 東京大学地震研究所教授 翠川三郎 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授</p>	<p>「平成10年度・11年度 神奈川県地震被害想定調査委員会」 地震時の消火・避難誘導、救出活動、医療救護活動、避難所運営・被災者救援・物資供給、地震モデル検討作業</p>	<p>H10、11</p>	<p>防災消防課</p>
<p>加藤孝明 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助教授 佐藤比呂志 東京大学地震研究所教授 佐土原聡 横浜国立大学大学院環境情報研究院教授 柴山知也 横浜国立大学大学院工学研究院教授 瀬尾和大 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授 中埜良昭 東京大学生産技術研究所教授</p>	<p>「平成19年度・20年度 神奈川県地震被害想定調査委員会」 地盤・地震動、津波、火災、建物・構造物、ライフライン・交通、地震防災戦略・経済被害・効果分析</p>	<p>H19、20</p>	<p>安全防災局 災害消防課</p>

<p>秦康範 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会システム工学系助教</p> <p>平田直 東京大学地震研究所教授</p> <p>松田磐余 関東学院大学経済学部教授</p> <p>翠川三郎 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授</p> <p>山崎文雄 千葉大学大学院工学研究科教授</p> <p>吉井博明 東京経済大学コミュニケーション学部教授</p>			
<p>神奈川県地震災害対策検証委員会</p>	<p>神奈川県における地震災害対策の検証及び必要な対策の検討</p>	H23	<p>安全防災局災害対策課</p>
<p>阿南英明 藤沢市民病院救命救急センター長</p> <p>荏本孝久 神奈川大学工学部教授</p> <p>加藤孝明 東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター准教授</p> <p>秦康範 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会システム工学系准教授</p> <p>翠川三郎 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授</p> <p>吉井博明 東京経済大学コミュニケーション学部教授</p>	<p>「平成 25 年 神奈川県地震被害想定調査委員会」地震による被害量の推定、被害や応急活動のシナリオ作成</p>	H25～26	<p>安全防災局災害対策課</p>
<p>中林一樹 首都大学東京 大学院教授（当時）</p>	<p>神奈川県の都市政策の総合指針である「かながわ都市マスタープラン」の見直しに関する検討を実施した委員会に参加。</p>	H17～18	<p>都市計画課</p>
<p>横浜地方気象台</p>	<p>水防技術講習会での気象についての講演</p>	H24、25	<p>河川課</p>
<p>横浜地方気象台</p>	<p>水防協議会</p>	毎年	<p>河川課</p>
<p>全国防災協会</p>	<p>災害専門家派遣（アドバイザー）</p>	H24	<p>河川課</p>
<p>柴山 知也</p> <p>松浦 律子</p> <p>稲垣 景子</p> <p>富田 孝志</p>	<p>神奈川県津波浸水予測図について（津波浸水想定検討部会の設置・開催）</p>	H23	<p>流域海岸企画課</p>
	<p>市町村業務継続計画の策定、支援</p>	H25、H26	
	<p>環境放射線監視委員会の委員</p>	H25、H26	
	<p>神奈川県国民保護協議会の委員</p>	H25、H26	

陸前高田市社会福祉協議会 安田 留美	「東日本大震災における被災地でのボランティア支援活動について～陸前高田市災害ボランティアセンターの場合～」をテーマとした講義	H25	かながわ県民活動サポートセンター
減災アトリエ主宰 (個人事業主) 鈴木 光	市町村災害ボランティアセンター担当者等による防災図上訓練実施コーディネート	H26	かながわ県民活動サポートセンター
防災プロジェクト代表理事 中井 政義	「東日本大震災の記憶と被災地の今。これから必要とされる支援」をテーマとした講演	H26	かながわ県民活動サポートセンター

<横浜市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
富士山ハザードマップ検討委員会 「富士山降灰可能性マップ」	横浜市防災計画の火山災害対策の対象とする噴火	H25	総務局危機対処計画課
我が国の降下火山灰データベース作成	降灰に関するデータ収集	H25	総務局危機対処計画課
大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究	降灰処理要領等の検討	H25	総務局危機対処計画課
東京大学名誉教授 藤井 敏嗣	降灰等の火山災害対策に関する意見ヒアリング	H25	総務局危機対処計画課
産業技術総合研究所 須藤 茂	降灰等の火山災害対策に関する意見ヒアリング	H25	総務局危機対処計画課
関西学院大学総合政策部 教授 室崎 益輝	横浜市防災計画「震災対策編」修正に関する意見交換	H24	総務局危機対処計画課
東京経済大学コミュニケーション学部 教授 吉井 博明	横浜市防災計画「震災対策編」修正に関する意見交換	H24	総務局危機対処計画課
防衛大学校 システム工学群 建設環境工学科 教授 藤間 功司	津波避難対策等に関する意見ヒアリング	H23	総務局危機対処計画課
東海大学専任教授 山本 吉道	津波避難対策等に関する意見ヒアリング	H23	総務局危機対処計画課
静岡大学防災総合センター准教授 原田 賢治	津波避難対策等に関する意見ヒアリング	H23	総務局危機対処計画課
東京大学地震研究所 教授 古村 孝志	津波避難対策等に関する意見ヒアリング	H23	総務局危機対処計画課
東京大学地震研究所 助教 大木 聖子	津波避難対策等に関する意見ヒアリング	H23	総務局危機対処計画課
東京工業大学 教授 翠川 三郎	配備・動員計画の見直し作業部会でのアドバイザー	H22	総務局危機対処計画課

東京大学 教授 額 額 一起	配備・動員計画の見直し作業部会でのアドバイザー	H22	総務局危機対処計画課
地震調査研究推進本部「地震発生可能性の長期評価」	震災対策等の基礎的資料	随時	総務局危機対処計画課
平成24年度横浜市地震被害想定調査	想定地震の選定、地震の規模の検討、地形・地質などの分析、震度分布などについて検討し、物的・人的被害及び経済被害の予測などを行いました。調査は学識経験者、ライフライン事業者、本市の関係部局で構成する「横浜市地震被害想定専門委員会」の議論のもとに進めました。	H23・24	総務局情報技術課
横浜市国際交流協会	災害時における外国人住民への支援	H27 (予定)	市民局市民活動支援課
南三陸町社協事務局長 猪又 隆弘	災害ボランティアセンターの運営とコーディネートについて	H26	市民局市民活動支援課
Community Empowerment Office FEEL Do 代表 栗原 英文	これまでの自然災害をふまえて、あらためて災害時の支援とは何か。災害発生後に支援者に求められる役割やあり方、平時の取り組みの重要性などについて	H25	市民局市民活動支援課
特定非営利活動法人 横浜プランナーズネットワーク	町の防災組織で活動している防災担当者向けの研修講師及び地域へのアドバイザー	H26、27	総務局危機管理課

<川崎市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
東京大学生産技術研究所 目黒公郎 東京大学大学院情報学環 田中 淳 東北大学災害科学国際研究所 村尾 修 東京大学生産技術研究所 加藤孝明 筑波大学大学院システム情報工学研究科 庄司 学 東京大学大学院情報学環 古村孝志 東京大学生産技術研究所 桑野玲子	防災対策の充実・強化を図り、災害による被害を軽減することを目的として、川崎市防災会議条例及び川崎市防災会議運営要綱の規定に基づき、川崎市防災対策検討委員会を設置している。学識者を委員として、地域防災計画に関する事、防災対策の諸施策に関する事、その他防災対策に関する事について研究・検討することとしている。	H14～	総務局危機管理室
消防大学校 客員教授 日野宗門	職員や町内会・各種団体等を対象とした研修や図上訓練において講師を務めていただいている。	H20～	総務局危機管理室
日本大学理工学部 岸井隆幸 東北大学災害科学国際研究所 村尾 修 東京大学生産技術研究所 加藤孝明 芝浦工業大学環境システム学科 中村 仁	災害に強い市街地の形成を目指した都市計画分野の予防的な対策や、大規模災害発生後の迅速な都市復興方策を総合的に取りまとめた「防災都市計画」を策定するために、学識経験者の立場から専門的な助言をしていただく。	H24～25	まちづくり局都市計画課

東京大学生産技術研究所 加藤孝明	住民が主体的に取り組む防災対策を推進するため、「地域住民との協働による防災まちづくり」として、モデル地区において、住民活動の支援のうち、専門的・客観的な見地からのアドバイスをしていただく。(H25～27まで)	H25	まちづくり局都市計画課
女性の視点でつくるかわさき防災プロジェクト	川崎市男女共同参画センターが実施。市民公募の女性や大学生を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、「ひとり暮らしの女性のための防災BOOK」作成にあたり、プロジェクトメンバーによるアンケート調査を実施した。また市民向け防災講座の企画・運営を行った。	H24	市民・こども局人権・男女共同参画室
桑野玲子 東京大学 生産技術研究所 教授	平成 25 年度川崎市防災シンポジウムにおいて、氏の専門である、地盤機能保全工学の見地から「地盤を知って地震や豪雨の災害からわが家・わが町を守る」と題した講演を行っていただいた。	H25	危機管理室
秦 詩子 人と防災未来センター語り部	平成 26 年度川崎市防災シンポジウムにおいて、阪神・淡路大震災での体験を語っていただいた。	H26	危機管理室
脇本靖子 川崎市男女共同参画センター	平成 26 年度川崎市防災シンポジウムにおいて、川崎市男女共同参画センターにおける女性の視点からみた防災の取組についてご紹介いただいた。	H26	危機管理室
中村敏一 消防科学総合センター	平成 26 年度川崎市防災シンポジウムにおいて、地域における図上訓練の指導者としての見地から、災害時に必要な防災対策についてご紹介いただいた。	H26	危機管理室

<相模原市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
市川宏雄 明治大学専門職大学院長、公共政策大学院ガバナンス研究科長	・相模原市防災条例検討委員 ・「さがみはら防災フォーラム」パネルディスカッションコーディネーター	H25、H26	危機管理課
出石 稔 関東学院大学法学部教授	相模原市防災条例検討委員	H25	危機管理課
矢守克也 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター	自主防災組織防災リーダーセミナー講師	H25	危機管理課
伊藤和明 防災情報機構会長	さがみはら防災スクール「地震のしくみと被害」、「近年の自然災害に学ぶ」講師	H25	危機管理課
東尾 正 株式会社日本経済研究所 理事	さがみはら防災スクール「防災士の役割」講師	H25、H26	危機管理課
目黒公郎 東京大学生産技術研究所 教授	さがみはら防災スクール「耐震診断と補強」、「都市防災」講師	H25、H26	危機管理課
藤井敏嗣 環境防災総合政策研究機構専務理事	さがみはら防災スクール「火山噴火のしくみと被害」講師	H25、H26	危機管理課
新井勝也 気象予報士会	さがみはら防災スクール「公的機関による予報・警報」講師	H25、H26	危機管理課
田中専匠 気象予報士会	さがみはら防災スクール「風水害と対策」講師	H25、H26	危機管理課
笠原秀紀 いなほコンサルティング 代表	さがみはら防災スクール「企業防災と事業継続計画」講師	H25、H26	危機管理課

志方俊之 帝京大学教授	さがみはら防災スクール「災害と危機管理」、「行政の災害対応」講師	H25、H26	危機管理課
岡本正男 全国治水砂防協会理事 会長	さがみはら防災スクール「土砂災害と対策」講師	H25、H26	危機管理課
今石佳太 芦屋市企画部市長室 長	さがみはら防災スクール「地域の自主防災活動」、「身近でできる防災対策」講師	H25、H26	危機管理課
橋本 茂 日本防災士機構理事	さがみはら防災スクール「災害図上訓練（DIG）防災マップ作成」講師	H25、H26	危機管理課
佐々木一如 明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 特任講師	さがみはら防災スクール「地震のしくみと被害」、「近年の自然災害に学ぶ」講師	H26	危機管理課
堀尾正明 フリーキャスター	「さがみはら防災フォーラム」講演 自助・共助・近助でつながる防災都市さがみはら ご近助の底力が支えるまちづくり・人づくり	H26	危機管理課
平野啓子 一般財団法人防災検 定協会 理事長	「さがみはら防災フォーラム」パネルディスカッション パネリスト	H26	危機管理課
佐藤 悠 石巻支援三七会 代 表	危機管理職員研修 講師	H26	危機管理課
森田正光 ウェザーマップ	異常気象と災害	H27	危機管理課
今泉マユ子 オフィスRM	今日から出来る防災食備蓄～ポイントとコツ～（ローリングストックなど）	H27	危機管理課

<平塚市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
出縄高昭 湘南減災科学研究所 所長	職員向け危機管理研修会 内容）3.11 東日本大震災から我々は何を学ぶべきか 身近な危機管理 危機管理初期対応「7つの心得」	H25、26	防災危機管理部 危機管理課
鍵屋 一 板橋区・法政大学大 学院	災害時要援護者講演会講師 （「本気で進めよう災害時要援護者支援～自助、近助、共助、公助の取り組み～」）	H25	防災危機管理部 災害対策課
中根和郎 (独)防災科学技術研 究所	防災講演会講師 （「風水害の対策と備え～どうすれば被害を減らせるか～」）	H25	防災危機管理部 災害対策課
亀山 紘 石巻市長	防災講演会講師 （「被災地・石巻市からの報告～東日本大震災を教訓として～」）	H26	防災危機管理部 災害対策課
平塚市（市長・副市 長・防災危機管理部 長） 農林水産省関東農政 局横浜地域センター 総括管理官 海上保安庁湘南海上 保安署長 陸上自衛隊第4施設 群長 神奈川県湘南地域県 政総合センター所長	平塚市防災会議 委員	H25、26	防災危機管理部 災害対策課

<p> 神奈川県平塚土木事務所長 神奈川県平塚保健福祉事務所長 神奈川県企業庁平塚水道営業所長 神奈川県平塚警察署長 平塚市民病院 病院事業管理者 平塚市教育委員会教育長 平塚市消防本部消防長 平塚市消防団長 日本郵便(株)平塚郵便局長 東日本旅客鉄道(株)平塚駅助役 東日本電信電話(株)神奈川西支店長 東京電力(株)平塚支社長 東京ガス(株)神奈川支社神奈川西支店長 神奈川中央交通(株)平塚営業所長 (一社)神奈川県トラック協会県央ブロック委員 平塚市議会(議長・副議長) 平塚市自治会連絡協議会会長 平塚商工会議所副会頭 (一社)平塚市医師会会長 (一社)平塚建設業協会会長 平塚管工事業協同組合理事長 (公社)神奈川県LPガス協会湘南支部平塚中郡部会長 平塚市漁業協同組合理事長 湘南農業協同組合常務理事 女性防災クラブ「平塚パワーズ」会長 西湖地域労働者福祉協議会副議長 平塚市水防団団長 </p>			
---	--	--	--

<鎌倉市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
規矩大義 (H26)	市民向け防災講演会講師	H26	防災安全 全部
神奈川県温泉地学研究所 萬年一剛	市民の防災意識及び災害時の備えについて再認識することを目的に講演会防災のつどいを実施 講演テーマ「大正関東地震による鎌倉の津波」	H25	防災安全 部総合防 災課
関東学院大学大学長 規矩大義 (H27)	市民の防災意識及び災害時の備えについて再認識することを目的に講演会防災のつどいを実施 講演テーマ「鎌倉市の土砂災害」	H26	防災安全 部総合防 災課
元理化学研究所研究 員 岡野眞治	防災・管理危機管理対策について専門的立場から助言を いただくため危機管理アドバイザーとして委嘱	H26～27	防災安全 部危機管 理課
防衛大学校助教 鴨原良典	防災・管理危機管理対策について専門的立場から助言を いただくため危機管理アドバイザーとして委嘱	H27	防災安全 部危機管 理課
(財)放射線影響会 研究 参与 松原純子	防災・管理危機管理対策について専門的立場から助言を いただくため危機管理アドバイザーとして委嘱	H26～27	防災安全 部危機管 理課
関東学院大学大学長 規矩大義	防災・管理危機管理対策について専門的立場から助言を いただくため危機管理アドバイザーとして委嘱	H26～27	防災安全 部危機管 理課

<藤沢市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
元釜石市両石町自主 防災組織 代表 瀬 戸 元	藤沢市地域防災活動推進大会での講演 題名：『東日本大震災「被災地からの報告」～大震災と 教訓～』 東日本大震災の「釜石の奇跡」として全国的に評価され た釜石東中学校の防災学習に震災前から協力し、現在、 総務省消防庁「伝承10年プロジェクト」の災害伝承語 り部として、ご活躍の瀬戸元氏に災害時の体験・教訓の 伝承と地域の防災意識に関するご講演をいただきました。	H26	総務部防 災危機管 理室
元南三陸町立歌津中 学校 校長 阿部 友昭	藤沢市地域防災活動推進大会での講演 題名：『東日本大震災「被災地からの報告」～避難所生 活での実態と課題～』 東日本大震災発災時、宮城県南三陸町立歌津中学校校長 として避難所運営に携わる一方、自らも避難者として長 期にわたり避難所での生活を過ごした体験をもとにした 避難所生活での実態や課題・問題に関するご講演をい ただく予定です。	H27	総務部防 災危機管 理室

<小田原市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
東京経済大学コミュ ニケーション学部教 授 吉井博明	自然災害における危機管理	H22	
横浜地方气象台 職 員	【基調講演】平成22年台風9号の概要	H23	
富士常葉大学 教授 重川希志依	【コーディネーター】	H23	
小山町 防災監 新 井昇	【パネリスト】	H23	

小山町ボランティア スタッフ 渡辺悦郎	【パネリスト】	H23	
小田原市自治会総連 合 副会長 三廻部洋次郎	【パネリスト】	H23	
富士常葉大学 教授 田中聡	【パネリスト】	H23	
神奈川県温泉地学研 究所 研究課長 明 田川保	東日本大震災の地震概要及び神奈川県周辺の地震活動 について	H23	
(独法) 港湾空港技 術研究所 特別研究 官 アジア・太平洋 沿岸防災研究センタ ー長 栗山善昭	津波の発生メカニズムと東日本大震災の津波被害につ いて	H23	
危機管理教育研究所 代表 国崎信江	「東日本大震災から学ぶ防災対策のあり方について」 ～最新の防災対策と女性の視点で考える防災対策～	H24	
群馬大学大学院教授 広域首都圏防災研究 センター長 片田敏 孝	「想定を超える災害にどう備えるか」 ～大津波から生き抜いた釜石市の子どもたち、その主体 的行動に学ぶ～	H24	
(株) ウェザーマッ プ 岡村真美子	局地的大雨にどう備えるか	H25	
神奈川県温泉地学研 究所 研究課長 宮 岡一樹	神奈川県周辺の地震活動と最近の箱根火山	H25	
京都大学防災研究所 教授 矢守克也	大災害！それまで・そのとき・それから ～自助・共助の心構え～	H26	

<茅ヶ崎市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
神奈川県津波浸水想 定検討部会	津波浸水予測	H24・25	防災対策 課
防災ソリューション 佐藤 喜久二	防災担当参与	H24・25	防災対策 課
危機管理研究所 国 崎 信江	防災会議委員	H24・25	防災対策 課
神戸防災技術者の会 片瀬 範雄	防災フェアにおいて「地域防災の自助・共助」と「災害 への事前の備え」について講演	H27	防災対策 課、都市政 策課、建築 指導課
東京大学生産技術研 究所 加藤孝明 准教授	防災フェアにおいて「地域から進める防災“も”まちづ くり」について講演	H27	防災対策 課、都市政 策課、建築 指導課
産業能率大学 斉藤 進 教授	「災害時要援護者支援に関する指導助言」について講演	H27	障害福祉 課、高齢福 祉介護課

<逗子市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
群馬大学広域首都圏 防災研究センター長 教授 片田 敏孝	「想定を超える災害にどう備えるか」をテーマに、これからの防災について市民を対象に講演したものを。	H24	経営企画 部防災課 教育部社 会教育課
総合防災ソリューション 佐藤 喜久二 (元陸上自衛隊師団 司令部幕僚長) 山本 忠雄 (元陸上自衛隊師団 司令部幕僚長)	「東日本大震災を踏まえて～想定外に備える」をテーマに、「想定外」の言葉の意味や事例、更に想定外に対する具体的な備えについて、市民を対象に講演したものを。	H23	経営企画 部防災課
総合防災ソリューション 甲元 孝昌 (元原子力安全・保 安院上斎原原子力保 安検査官事務所長)	「福島原子力発電所災害はなぜ起こったのか」をテーマに、原子力災害の安全と仕組みについて、市民を対象に講演したものを。	H23	経営企画 部防災課
元理化学研究所研究 員 岡野 眞治	「生活環境での放射線について」をテーマに、過去にあった原子力事故の事例を紹介し、また目に見えない放射線を実際に測定することで理解してもらうという内容で、市民を対象に講演したものを。	H23	経営企画 部防災課
神奈川県総合防災セ ンター	自主防災組織リーダー等に対する研修会	H25、26	経営企画 部防災課
千葉達朗 (H26) アジア航測 (株)	◎市民防災セミナー 最新の航空レーザー計測の技術では、大地を覆う樹木や建物を取り除いて、その地形に刻まれた過去の災害の記録を読み取ることができる。宮城県石巻市出身の千葉達朗氏はこの技術の開発者で、逗子市を中心に三浦半島にスポットを当て、東日本大震災の被災地石巻市との類似点から見た津波被害や土砂災害など自然災害について学ぶ。	H25	経営企画 部防災課
今野茂雄 (H26) NPO 法人日本防災環 境	◎国民保護セミナー 国民保護とは何か、国民保護で想定する事態とはどのようなものか、市民生活に与える影響とは何があるのか、市民としてどう対応するのか等、市民の立場で疑問に思うであろうことを分かりやすく講義する。	H26 (予定)	経営企画 部防災課
一般財団法人消防科 学総合センター	住民向け災害図上訓練D I G (地震版)	H26	経営企画 部防災課
千葉 達朗 (H27)	地形から読み解く自然災害	H25	防災課
今野 茂雄 (H27)	国民保護は私たちにどのように影響し、その対策は	H26	防災課

<三浦市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
山村武彦	阪神・淡路大震災の教訓	H7.5.7	防災課
山本孝行	被災体験から語り伝えたいこと・救援・救助活動の実態	H9.1.19	防災課
浅見茂雄	南下浦活断層の調査成果と今後の課題・防災対策フォーラム	H10.1.18	防災課
重川希志依	災害に強いまちづくり・ひとづくり	H11.1.17	防災課

村上處直	災害現場に学ぶ防火・防災対策	H12. 1. 22	防災課
太田陽子	三浦半島の活断層と調査成果	H13. 1. 28	防災課
須藤眞啓	都市型災害を生き抜く術	H14. 1. 26	防災課
横浜地方気象台所長 坂戸宏敏	気象と防災	H15. 1. 18	防災課
市民防災研究所 青 野文江	身近でできる家庭の防災対策	H16. 2. 1	防災課
東工大大学助教授 山田 哲	耐震建築のしくみと地震への備え	H17. 2. 5	防災課
防災情報研究所 川 端信正 県土職員 入原修一	・その時あなたは ・備えてますか？住まいの防災対策	H18. 2. 4	防災課
須藤眞啓	新潟県中越地震を語る～1年5ヶ月に及ぶ支援活動から～	H19. 2. 3	防災課
気象台技術専門官 松本 守	「地震が来る」を知らせる緊急地震速報について	H20. 2. 9	防災課
柏崎市危機管理監 山田信行	新潟県中越・中越沖地震を体験して	H21. 2. 7	防災課
日本防災士会湘南支 部 山崎久雄 横須賀災害ボランテ ィアネットワーク 増田正義	・地震被害の軽減と建物の耐震化 ・その時の被災地とボランティア活動	H22. 1. 16	防災課
横浜地方気象台予報 官 竹内 仁	「局地的大雨と高潮」について	H23. 1. 15	防災課
防衛大学名誉教授 佐藤 紘志	3・11 東日本大震災から学ぶ地域の防災 三浦市の防災を考える	H24. 1. 21	防災課
関東学院大学 若松 加寿江	家庭における地震防災対策、女性の視点による防災対策	H25. 1. 19	防災課
横浜地方気象台気象 情報官 小林 高枝←H25	親子で考える台風と局地的大雨 ー近年増加している 極端現象についてー	H25. 1. 18	防災課
一般財団法人消防科 学総合センター (H25)	市町村防災力強化出前研修 災害図上訓練 DIG	H25	防災課
消防科学総合センタ ー (H26)	地域防災委員を対象とした出前研修（住民向け災害図上 訓練 DIG）を実施	H25	総務部 防 災課
小林高枝 (H26) 横浜地方気象台 気象情報官	市民等を対象とした防災気象講演会を実施	H25	総務部 防 災課
神奈川県総合 防災センター	地域防災委員を対象とした出張研修（自主防災組織リー ダー等研修会）を実施	H26	総務部 防 災課
片田敏孝 群馬大学大学院 理工学府	市民等を対象とした防災講演会を実施	H26	総務部 防 災課
木船賢治 (一財)DRI Japan 理事	職員を対象とした幹部職員研修（業務継続計画研修）を 実施	H26	総務部 防 災課 総務 部人事課

防衛大学 准教授 加藤 健	防災講演会（予定）	H27	防災課
------------------	-----------	-----	-----

<秦野市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
会田 柏崎市長	災害時の対応や情報共有について	H27	防災課
関矢 登	新潟県中越沖地震について	H27	防災課

<厚木市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
国立防災科学技術センター 耐震実験室 長 大谷圭一	地震災害と自主防災隊の役割	S61	
財団法人都市防災研究所 主任研究員 渡辺 実	地震！！その時あなたの街は？	S62	
東北大学理学部地球物理学科 教授 大竹 政和	東海地震と神奈川県西部地震	S63	
日本大学理工学部 教授 守屋喜久夫	サンフランシスコ地震の教訓と厚木市の防災診断	H1	
元町自主防災隊 防災委員 長島 健司	元町自主防災隊の活動	H1	
静岡県自主防災組織活動推進委員会 委員 北川 正枝	女性の目で見えた自主防災	H2	
静岡県自主防災組織活動推進委員会 委員 大高 瑞芳	自主防災組織の実践活動について	H3	
科学技術庁防災科学研究所 防災総合研究部長 大谷 圭一	大地震を大地震としないために	H4	
科学技術庁防災科学研究所 地殻変動研究室長 坂田 正治	神奈川県西部地震の地震予知について	H4	
地域安全学会会員 防災アドバイザー 山村 武彦	大地震その時どうする	H5	
神奈川県温泉地学研究所 所長 平野 富雄	厚木市の地震とその対策を考える	H6	
地域安全学会会員 防災アドバイザー 山村 武彦	阪神・淡路大地震に学ぶ家庭を守る準備と心得	H7	
温泉地学研究所 研究部長 横山 尚秀	神奈川県地震について	H9	
防災担当部長 坂上 鎮穂	自主防災隊の歩みについて	H9	
都市防災研究会 代表補佐 大間知 倫	どうする地域防災	H10	
横浜国立大学名誉教授 太田 陽子	活断層と地震 台湾地震から学ぶ地震対策	H11	
防災システム研究所 山村 武彦	準備をして災害を迎え撃て ～不安列島・戦う防災術	H12	
社会福祉法人大阪ボランティア協会理事 早瀬 昇	災害時における市民・ボランティアの役割と課題	H13	

神戸市職員 吾妻 義信	被害の悲しみを乗り越えて市民がどう行動したか	H14	
神戸市職員 中山 久憲	災害対応や市民への支援など行政がどう行動したか	H14	
神戸市小野柄小学校 避難所責任者 中村 六治	震災から避難所解消までの8ヶ月間	H15	
財団法人神戸都市整 備公社施設経営部長 今村 俊夫	市民ボランティアで乗り切れた避難所運営	H15	
県防災総合センター 企画運営課長 中坂 茂木	自主防災組織リーダーの心構え	H16	
厚木建築職組合 組 合長 鈴木信男	私達の知識と経験を地域に生かす	H16	
元町自主防災隊 副 隊長 香田英明	元町自主防災隊の活動事例報告と今後の活動提案	H16	
戸室小学校避難所運 営委員会 委員長 飛鳥井 昭	戸室小学校避難所運営マニュアルの検証と運営訓練	H16	
新潟県小千谷市 助 役 佐藤 知巳	新潟県中越大震災からの教訓	H17	
横浜地方气象台 技 術課 気象情報官 永井 博幸	厚木市の災害と気象	H18	
神奈川災害ボランテ ィアステーション代 表 鈴木幸一	地域力による避難所運営	H19	
新潟県小千谷市自主 防災組織連絡協議会 長 風間久司	災害に生かせ、自治会の総力	H20	
静岡県地震防災アド バイザー 郷 隆志	巨大地震から命を守ろう	H21	
横浜地方气象台 台 長 萬納寺信崇	局地的大雨から身を守る	H22	
静岡県地震防災アド バイザー 郷 隆志	巨大地震から命を守ろう～東日本大震災から学ぶ～	H23	
厚木市専門委員 石 附 弘	来たるべき危機管理にどう備えるか～防災と「命の危機 管理」～	H24	
(株) ウェザーニュー ーズ 山崎育正 他	厚木市における気象特性と注意すべき気象について	H25	
岩手県大船渡市長 戸田公明 岩手県釜石市長 野 田武則	東日本大震災の現状と教訓、被災地の復興に向けて (IT中継会議)	H26	
元堀之内地区区長 鎌倉 宏 白馬村職員 渡邊 厚木ガス	大規模災害における共助の重要性～長野県神城断層地 震について～	H27	

<大和市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
鈴木 洋 横浜市民共済生活協 同組合	大和市防火・防災講演会	H26	市長室危 機管理課
工藤風貴 (株)ウェザーニューズ 社防災気象チーム	危機管理講習会	H26	市長室危 機管理課

<伊勢原市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
消防科学総合センタ ー企画部	職員参集に係る状況予測型訓練 (図上)	H26	企画部 防災課

<海老名市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
富士常葉大学 小川 雄二郎	自然災害・都市災害について考える	H18	市消防本 部 予防課防 災担当
小地谷市職員 佐藤 知巳	新潟県中越大震災からの教訓	H19	市消防本 部 予防課防 災担当
(株)防災&情報研 究所 高梨 成子	生死を分ける地域防災の力	H20	市消防本 部 予防課防 災担当
神奈川大学 荏本 孝久	神奈川県揺れやすさマップ	H21	市消防本 部 予防課防 災担当
災害研究所 伊永 勉	災害への備え 先手を打つか！ 迎え撃つか！自助と共助が生命を救う	H22	市消防本 部 予防課防 災担当
宮城県名取市 高橋 善夫	東日本大震災を体験して	H23	市消防本 部 予防課防 災担当
(株)ソリューショ ン 佐藤 喜久二	東日本大震災から学んだこと	H24	海老名市 役所 危機管理 課
危機管理研究所 浅野 幸子	男女で異なる災害時の困難 ～あたらしい時代の避難所運営とは～	H25	海老名市 役所 危機管理 課

<座間市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
元釜石市防災課長 佐々木 守	釜石市における東日本大震災における課題と教訓 (市職 員向け)	H27	防災安全 課
神奈川県温泉地学研 究所 所長 里村 幹夫	防災講演会 (一般市民向け)	H27	予防課、防 災安全課

<南足柄市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
神奈川県温泉地学研究所 萬年一剛	火山災害 及び 富士山噴火と当市との関係について	H26	防災安全課
九州大学大学院 橋本 晴行 教授	南足柄市における避難勧告等発令基準に関する助言（市町村災害対策支援アドバイザー【消防庁】）	H25	総務防災部 防災安全課

<綾瀬市>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
危機管理教育研究所 国崎信江	・防災アドバイザーの委嘱 ・防災講演会の実施 ・防災対策についてのアドバイス	H20～	防災対策課

<大磯町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
杉山 孝 神奈川県総合防災センター専門員（当時） 現大磯町防災対策担当参与	大磯防災ミーティング 町民自ら訓練を企画し、実践～チェック～改善を通じて、より良い訓練を創り上げることを目的	H24～ 継続事業	危機管理対策室
宮崎 賢哉（防災教育コンサルタント） 仁藤 智治（災害救援ボランティア推進委員会）	防災講演会 いざ災害が起きた時の行動を一人一人が考えるきっかけとして、事前の心構え、災害から身を守ること、被災地を生き抜いていくこと、そして今取り組まなければならない本当に必要な備えについて 演題「家族の命を守るために」 演習「目黒巻き」	H24	危機管理対策室
吉田 茂生 伊藤 敦 （東海大学工学部原子力工学科教授）	消費生活講演会 放射線や放射能の基礎的な知識から、毎日の食生活や健康に関わる、食品中に含まれる放射性物質の基準値など、食の安全や放射線による健康への影響などについて講演	H24	町民課と危機管理共催
仁藤 智治（災害救援ボランティア推進委員会）	防災リーダー養成研修 災害が起きた際にすべき行動に対し、救助などの専門知識を習得する。 演習「HUG」	H24	危機管理対策室
荻本 孝久（神奈川大学工学部建築学科教授）	防災講演会 地震発生のメカニズムから、自助・共助による減災への取り組みの重要性を学ぶ	H25	危機管理対策室
田中 専匠（日本気象予報士会神奈川支部） 仁藤智治（災害救援ボランティア推進委員会）	防災リーダー養成研修 災害への心構えを考え、災害が起きた際の地域としての役割、連携の重要性と地域の防災リーダーとして資質の向上を図る	H25	危機管理対策室
災害救援ボランティア推進委員会事務局 天寺 局長代行	女性や子どもの視点から防災について	H26	危機管理対策室
東海大学 梶田 准教授	津波浸水のシミュレーションについて	H26	危機管理対策室
東海大学 梶田 准教授	（平成27年3月に神奈川県から発表された新たな津波浸水想定による）津波浸水のシミュレーションについて	H27	危機管理課
神奈川県災害対策課 杉原課長	土砂災害について	H27	危機管理課

<二宮町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
佐藤 浩 宮城県名取市職員	「地震にどう備えるか日頃から求められる個人・地域の防災力」	H25	防災安全課
石森 啓之 横浜地方気象台	「自然災害に負けない地域づくり」	H26	防災安全課

<中井町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
永山政広 ラボラトリー・フィート・バック 代表	災害対策本部初動対応図上訓練	H26	総務課
森 清一	町防災訓練における HUG の講師	H27	総務課
高橋 進一	東日本大震災の経験から得た教訓の語り部事業	H27	総務課

<大井町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
日野 宗門	総合防災訓練での図上訓練	H23	防災安全室
荻本 孝久 米山則明 消防防災 アドバイザー	自主防災リーダー等研修会 出前講座にて地震のメカニズム等 HUG 幼小中学校での体験教室等	～H25	防災安全室
荻本孝久 神奈川大学	自主防災リーダー等研修会	H25.6	防災安全室
日野宗門 (H26) 消防大学校客員教授	管理職等を対象にした図上訓練	H26.8	防災安全室
永山政広 (H26) ラボラトリー・フィート・バック 代表	一般職を対象にした図上訓練	H26.8	防災安全室
村井俊治 (H26) (公社)日本測量協会 会長 (株)地震科学 探査機構顧問	G P Sによる地震予測の講演	H26.9	防災安全室(足柄上 地域1市 5町の共 同開催)
日野 宗門 (H27)	職員(管理職)防災訓練講師(図上訓練)	H26	防災安全室
永山 政広 (H27)	職員(一般職)防災訓練講師(図上訓練)	H26	防災安全室
村井 俊治 (H27)	防災講演会	H26	防災安全室
南 哲行	防災講習会(土砂災害)	H27	防災安全室

<松田町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
朝日航洋(株)	各種ハザードマップの作成における住民説明会	H26	総務課安全防災担当室
神奈川大学 荻本孝久 教授	地域の防災力を高める実践的なまちづくりについて	H27	総務課安全防災担当室
神奈川県 川澄 昇一	土砂災害について	H27	総務課安全防災担当室

神奈川県 杉原 英和	神奈川県の災害対策	H27	総務課安全防災担当室
防災だるま塾 伊東 幸保	防災力を向上する	H27	総務課安全防災担当室
防災だるま塾 片山 晋	地域減災への取り組み J-DUG	H27	総務課安全防災担当室
防災だるま塾 森 清一	HUG、DIG	H27	総務課安全防災担当室

<山北町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
神奈川県県西地域県西総合センター 足柄上県民・安全防災課	職員による避難所運営図上訓練	H25	総務防災課
神奈川県県西土木事務所河川砂防第2課	防災講演会	H25	総務防災課

<箱根町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
山村武彦 防災システム研究所	町民防災講演会 テーマ「防災隣組」と「近助の精神」 主に自助・共助の大切さについて語られた。	H25	総務部 総務防災課
澁谷大司 宮城県多賀城市 ※消防庁「災害伝承10年プロジェクト」講師	町職員防災講演会 テーマ「東日本大震災を経験して伝えたいこと」 大規模災害時に行政職員として何をすべきかという視点で語られた。	H25	総務部 総務防災課
山崎義勝 パシフィックコンサルタンツ(株) ※消防庁「災害伝承10年プロジェクト」講師	町職員防災講演会 テーマ「東日本大震災、被災地からのメッセージ(災害から命を守る)」 命を守るための避難行動や自助・共助に関する検証、考察について語られた。	H26	総務部 総務防災課

<真鶴町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
神奈川県温泉地学研究所	地震防災講演会 総合防災訓練の一環として講演会を行った。	H26	総務課

<湯河原町>

人名及び所属	具体的な内容	実施年度	担当部課
日本気象予報士会 神奈川支部 (H26)	防災講演 局地的大雨から身を守る。	H25	総務部 地域政策課
神奈川県温泉地学研究所 研究課長 (H26)	防災講演会 地震を知る・火山を知る。	H26	総務部 地域政策課
NPO法人日本防災士会理事 水嶋康男	避難所運営について	H27	地域政策課
神奈川県温泉地学研究所 竹中潤 (H27)	地震を知る・火山を知る	H26	地域政策課
一般社団法人日本気象予報士会 神奈川支部 副支部長 島田賀子 (H27)	局地的大雨から身を守る	H25	地域政策課

静岡県防災アドバイザー 郷隆志	巨大地震から命を守ろう	H23	地域政策課
社団法人日本気象予報士会所属 気象予報士	局地的大雨から身を守る	H22	地域政策課
衆議院議員 長島忠美	災害に強いまちづくりをめざして	H20	地域政策課